



流れ・ビューティフル

株式
会社

ベニ

Safety Relief Valve
Relief Valve(for Pump Relief)

ふく太郎シリーズ

揚程式 安全逃し弁
ポンプレリーフ弁(ポンプ専用)

ハイレベルな
安心・安全を確保します。



充実のふく太郎シリーズ。

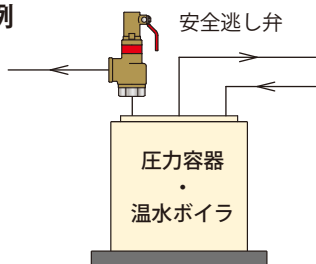
安全逃し弁

Safety Relief Valve (Lift Type)

安全逃し弁とは・・・

安全逃し弁「ふく太郎」は、主に蒸気・気体用に用いられる安全弁と、主に液体用に用いられる逃し弁の機能を合わせ持ち、広範な用途に対応できるバルブです。

使用例



特 長

◎様々な用途に使用可能

圧力容器、温水ボイラ、熱交換器、減圧弁の安全装置など広く使用可能でメタルシート形は蒸気・気体・液体の3流体に共用できます。

◎高耐久・高信頼

調節ばねにも耐食・耐久性に優れたステンレス鋼を採用。長期にわたって機能を維持します。

◎ソフトシート形

ソフトシートを採用することで気密性を確保。弁漏れを許容できない用途に最適です。水道法性能基準適合品もラインナップしています。

※水道法性能基準適合品

型式早見表

端接続

材質

シート
タイプ

レバー付
型式

レバー無

ねじ込形		フランジ形	
青銅製		ステンレス鋼製	
メタルシート	ソフトシート	メタルシート	ソフトシート
SL-37型	SL-37V型 (SL-37VN型)※	SL-39型	SL-39V型
SL-38型	SL-38V型 (SL-38VN型)※	SL-40型	SL-40V型
SL-39F型	SL-39FV型	SL-40F型	SL-40FV型
SL-37型 (メタルシート)	SL-38V型 (ソフトシート)	SL-40型 (メタルシート)	SL-39V型 (ソフトシート)
SL-39F型 (メタルシート)	SL-40FV型 (ソフトシート)		
青銅製・ねじ込形		ステンレス鋼製・ねじ込形	
		ステンレス鋼製・フランジ形	

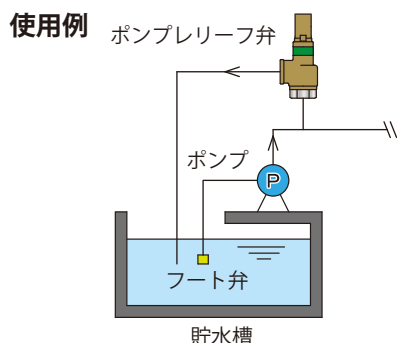
様々な用途に対応します。

ポンプレリーフ弁

Relief Valve (for Pump Relief)

ポンプレリーフ弁とは・・・

ポンプ専用の圧力調整用リーフ弁で、連続して逃す場合でもハンチングやウォーターハンマを引き起こしにくい構造です。



特 長

◎ダッシュポットタイプ

弁体部はダッシュポット構造で、脈動圧、変動圧による弁体の急激な運動を抑制し、ポンプの吐出圧力を一定に保ちます。

◎高耐久・高信頼

調節ばねにも耐食・耐久性に優れたステンレス鋼を採用。長期にわたって機能を維持します。

◎ハンドル付ポンプレリーフ弁

ハンドル操作で作動圧力の調整が容易にできます。



※水道法性能基準適合品

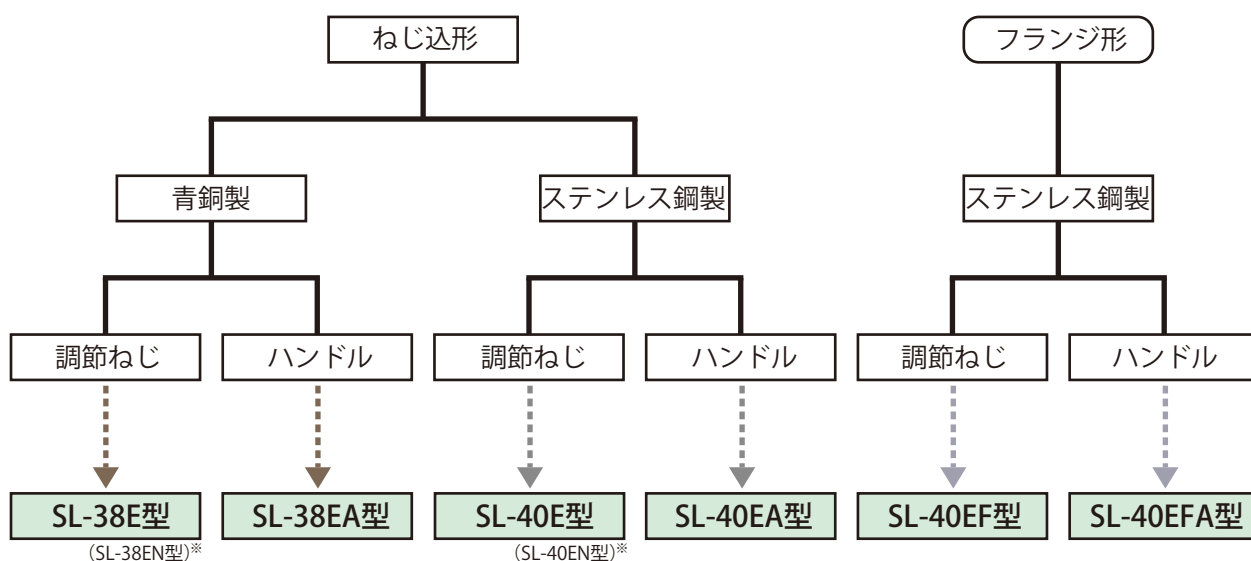
型式早見表

端接続

材質

調整方法

型式



青銅製・ねじ込形

ステンレス鋼製・ねじ込形

ステンレス鋼製・フランジ形

仕様

●ねじ込形

種 類	青銅製				ステンレス鋼製			
シートタイプ	メタルシート形		ソフトシート形		メタルシート形		ソフトシート形	
型 式	SL-37 型	SL-38 型	SL-37V 型 注1.	SL-38V 型 注1.	SL-39 型	SL-40 型	SL-39V 型	SL-40V 型
製 品 記 号	SL37-D□	SL38-D□	SL37V-D□	SL38V-D□	SL39-D□	SL40-D□	SL39V-D□	SL40V-D□
※□内には圧力区分の記号が入ります。								
キャップ形式	密閉レバー付注2.	レバー無	密閉レバー付	レバー無	密閉レバー付注2.	レバー無	密閉レバー付	レバー無
呼 び 径	15 ～ 50							
適 用 流 体	蒸気 注2. ・ 気体 ・ 液体 注3.		空気 ・ 気体 ・ 液体 注3.		蒸気 注2. ・ 気体 ・ 液体 注3.		空気 ・ 気体 ・ 液体 注3.	
流 体 温 度	150℃以下 (225℃以下 注2.)		120℃以下		150℃以下 (235℃以下 注2.)		120℃以下	
設定圧力範囲	0.05 ～ 1.0MPa 注4.							
端 接 続	JIS Rc ねじ							
本体耐圧試験	水圧にて 2.0MPa							
取 付 姿 勢	直立取付							

●フランジ形

種 類	ステンレス鋼製			
シートタイプ	メタルシート形		ソフトシート形	
型 式	SL-39F 型	SL-40F 型	SL-39FV 型	SL-40FV 型
製 品 記 号	SL39F-D□	SL40F-D□	SL39FV-D□	SL40FV-D□
	※□内には圧力区分の記号が入ります。			
キャップ形式	密閉レバー付 ^{注2}	レバー無	密閉レバー付	レバー無
呼 び 径	15 ～ 50			
適 用 流 体	蒸気 ^{注2} ・気体・液体 ^{注3}		空気・気体・液体 ^{注3}	
流 体 温 度	150℃以下(235℃以下 ^{注2})	235℃以下	120℃以下	
設定圧力範囲	0.05 ～ 1.0MPa ^{注4}			
端 接 続	JIS 10K ルーズフランジ ^{注5}			
本体耐圧試験	水圧にて 2.0MPa			
取 付 姿 勢	直立取付			

●圧力区分

(MPa)

記 号	圧 力 区 分
1	0.05 ~ 0.1
2	0.1 を超え 0.2
3	0.2 を超え 0.5
4	0.5 を超え 1.0

注1.水道法性能基準適合品のSL-37VN、38VN型も製作しています。

注2.流体が蒸気の場合、開放レバー付となり225℃まで使用できます。

(ステンレス鋼製の場合235℃まで使用できます。)

注3.流体がガソリン、灯油など、および溶剤系の場合はお問い合わせください。

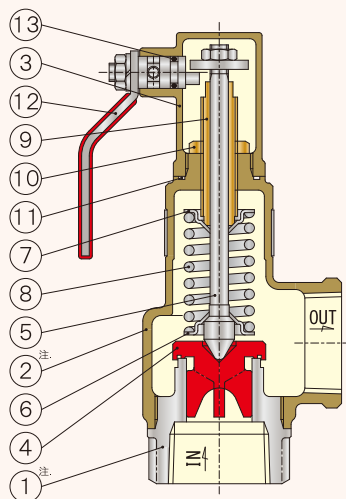
注4.設定圧力範囲0.05MPa未満はお問い合わせください。

注5.ASME・JPIクラス150フランジも製作しています。

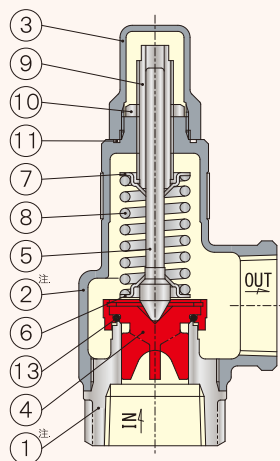
注6.温水ボイラ、熱交換器の熱膨張の逃しなど作動頻度の多い用途の場合はソフトシート形をご使用ください。

構造・材質

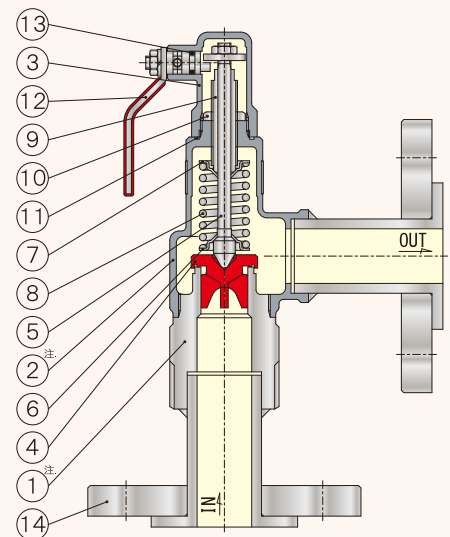
ねじ込形・メタルシート形
(SL-37型)



ねじ込形・ソフトシート形
(SL-40V型)



フランジ形・メタルシート形
(SL-39F型)



※呼び径により構造が多少異なります。

No.	部 品 名	青銅製	ステンレス鋼製
1	ホンタイ(ベンザ) ^注	SCS13 (フランジ形: SUS304)	
2	バネケース ^注	CAC406	SCS13
3	キャップ	CAC406	SCS13
4	ベンタイ	SCS13	
5	ステム	SUS304	
6	シタバネウケ	SUS304	
7	ウエバネウケ	SUS304	
8	チョウセツバネ	SUS304	

No.	部 品 名	青銅製	ステンレス鋼製
9	チョウセツネジ	C3604B	SUS304
10	チョウセツナット	C3604B	SUS304
11	ガスケット	PTFE	
12	レバー	SUS304 & PVC	
13	リング	FKM	
14	フランジ	SUS304	

注.ベンザはホンタイと同一の部品です(入口側)。出口側はバネケースとなります。

吹出し容量表 / 呼び径選定資料

圧力容器構造規格

● 蒸気用

(kg/h)

呼び径	設定圧力 (MPa)										
	0.05	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0
15	13.5	17.5	25.4	34.2	42	50.6	59.2	67.7	76.3	84	92.4
20	23.1	29.8	43.3	58.2	71.6	86.2	100	115	129	143	157
25	33.5	43.4	63	84.6	104	125	146	167	188	207	228
32	62.2	80.4	116	156	193	232	271	310	350	385	424
40	97.4	125	182	245	302	363	424	486	547	602	663
50	158	204	297	399	490	590	690	790	890	979	1070

※印：社内数値

計算式 $Q_m = 5.25C'K_{dr}AP$

Q_m : 公称吹出し量 (kg/h)

K_{dr} : 0.864※ (公称降格吹出し係数)

A : 吹出し面積 (mm²)

P : 公称吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

(設定圧力×1.1+0.101)または(設定圧力+0.020+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

C' : 蒸気の性質による係数 (飽和蒸気)

公称吹出し量決定圧力の絶対圧力P(MPa・A)	蒸気の性質による係数C'
0.5以下	1
0.5を超え1.0以下	0.98
1.0を超え2.0以下	0.97
2.0を超え	0.96

● 空気用

(kg/h)

呼び径	設定圧力 (MPa)										
	0.05	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0
15	21.7	28.3	41.2	55.3	69.5	83.6	97.7	111	126	140	154
20	37	48.3	70.2	94.3	118	142	166	190	214	238	262
25	53.8	70.2	102	137	171	206	241	276	311	346	381
32	99.8	130	189	254	318	383	448	513	578	643	708
40	156	203	296	397	498	600	701	803	904	1000	1100
50	253	331	481	645	810	975	1140	1300	1470	1630	1790

※印：社内数値

計算式 $Q_m = C''K_{dr}P_1AK_b\sqrt{\frac{M}{ZT}}$

Q_m : 公称吹出し量 (kg/h)

C'' : 27.03 (係数)

K_{dr} : 0.864※ (公称降格吹出し係数)

P_1 : 公称吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

(設定圧力×1.1+0.101)または(設定圧力+0.020+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

A : 吹出し面積 (mm²)

K_b : 背圧補正係数

上記表：設定圧力0.05MPa=0.99

設定圧力0.1MPa以上=1

P_2 : 背圧の絶対圧力 (背圧無)

M : 28.96 空気の分子量

Z : 1※ (圧縮係数)

T : 293 (絶対温度 K)

● 水・温水用

(kg/h)

呼び径	設定圧力 (MPa)										
	0.05	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0
15	375	531	742	875	976	1070	1150	1230	1310	1380	1450
20	640	905	1260	1490	1660	1820	1970	2110	2240	2360	2470
25	930	1310	1830	2160	2410	2650	2860	3060	3250	3430	3600
32	1720	2430	3400	4010	4480	4910	5310	5680	6030	6360	6680
40	2690	3810	5320	6280	7000	7690	8310	8890	9440	9950	10400
50	4380	6200	8650	10200	11300	12400	13500	14400	15300	16100	16900

計算式 $W = 87.75\sqrt{(P_1+0.1)\kappa\gamma_1}$

$$\left(S = \frac{W}{87.7\sqrt{(P_1+0.1)\kappa\gamma_1}} \right)$$

(上式において $(P_1+0.1)\kappa > (P_1-P_2)$ となる場合、 $(P_1+0.1)\kappa$ を (P_1-P_2) に置き代えて計算する。)

W : 弁の所要吹出し量 (kg/h)

S : 吹出し面積 (mm²)

P_1 : 吹出し量決定圧力 (MPa)

設定圧力0.05MPa以上で0.17MPa未満の場合：設定圧力×1.2

設定圧力0.17MPa以上で0.34MPa未満の場合：設定圧力+0.034

設定圧力0.34MPa以上の場合：設定圧力×1.1

P_2 : 弁の出口側圧力 (MPa)

κ : 修正係数

上記表：設定圧力0.05MPa=0.743

設定圧力0.1MPa以上=0.75

γ_1 : 弁入口側の水・温水の密度 kg/L [水 (15℃) = 1]

● 有効面積 (吹出し面積)

呼び径	有効面積 (mm ²) πDL	弁座口の径 (mm) D		リフト (mm) L	
		メタルシート	ソフトシート	メタルシート	ソフトシート
15	17.5	14	13	0.4	0.43
20	29.8	19	18.6	0.5	0.51
25	43.3	23	21.9	0.6	0.63
32	80.3	32	29.4	0.8	0.87
40	125.6	40	36.7	1.0	1.09
50	204.1	50	47.1	1.3	1.38

※ $\pi = 3.14$

仕様

●ねじ込形

種 類	青銅製				ステンレス鋼製			
調 整 方 法	調節ねじ		ハンドル		調節ねじ		ハンドル	
型 式	SL-38E 型 ^{注1}		SL-38EA 型		SL-40E 型 ^{注1}		SL-40EA 型	
製 品 記 号	SL38E-D□		SL38EA-D□		SL40E-D□		SL40EA-D□	
※□内には圧力区分の記号が入ります。								
キャップ形式	レバー無		圧力調整ハンドル付		レバー無		圧力調整ハンドル付	
適 用 流 体	水・油・液体 ^{注2,注3}							
流 体 温 度	5～80℃(150℃まで製作しています。注4)							
呼 び 径	15～50	15～25	15～50	15～25	15～50	15～25	15～50	15～25
設定圧力範囲	0.035～1.0MPa	1.0～1.6MPa	0.035～1.0MPa	1.0～1.6MPa	0.035～1.0MPa	1.0～1.6MPa	0.035～1.0MPa	1.0～1.6MPa
端 接 続	JIS Rc ねじ							
本体耐圧試験	水压にて呼び圧力 2 倍							
取 付 姿 勢	直立取付							

●フランジ形

種 類	ステンレス鋼製	
調 整 方 法	調節ねじ	ハンドル
型 式	SL-40EF 型	SL-40EFA 型
製 品 記 号	SL40EF-D□	SL40EFA-D□
※□内には圧力区分の記号が入ります。		
キャップ形式	レバー無	圧力調整ハンドル付
適 用 流 体	水・油・液体 ^{注2,注3}	
流 体 温 度	5～80℃ (150℃まで製作しています。注4)	
呼 び 径	15～50	
設定圧力範囲	0.035～1.0MPa	
端 接 続	JIS 10K ルーズフランジ	
本体耐圧試験	水压にて呼び圧力の 2 倍	
取 付 姿 勢	直立取付	

●圧力区分

(MPa)

記 号	圧 力 区 分
1	0.035～0.2
2	0.2を超え 0.5
3	0.5を超え 1.0
4	1.0を超え 1.6

注1.水道法性能基準適合品のSL-38EN、SL-40EN型も製作しています。

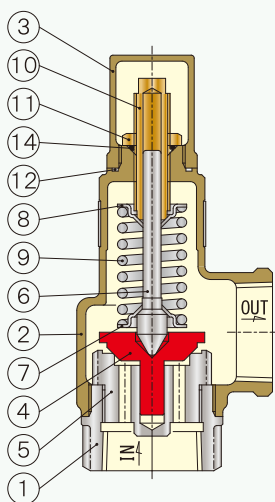
注2.流体がガソリン、灯油など、および溶剤系の場合はお問い合わせください。

注3.給水装置に使用の場合は、水道法性能基準適合品のSL-38EN、SL-40EN型をご使用ください。

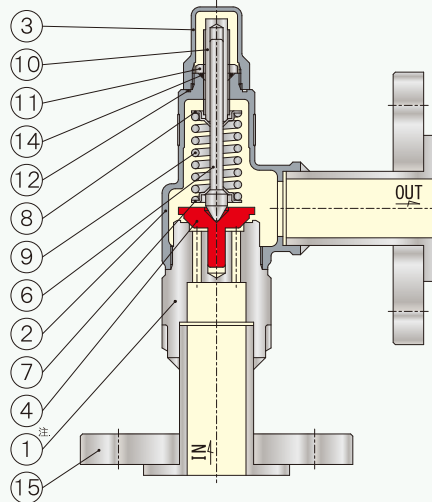
注4.油類は150℃以下、温水は90℃以下となります。

構造・材質

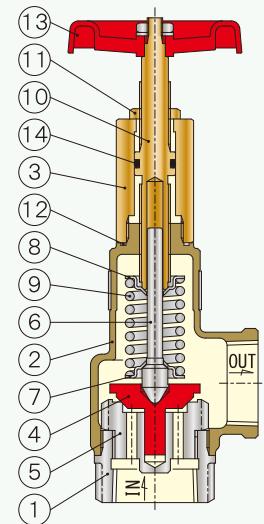
ねじ込形
(SL-38E型)



フランジ形
(SL-40EF型)



ねじ込形・ハンドル付
(SL-38EA型)



※呼び径により構造が多少異なります。

No.	部 品 名	青銅製	ステンレス鋼製
1	ホ ン タイ ^注	SCS13 (フランジ形 : SUS304)	
2	バネケース	CAC406	SCS13
3	キャップ	CAC406	SCS13 (ハンドル付 : SUS304)
4	ベンタイ	SUS304	
5	ベンザ	SUS304	
6	ステム	SUS304	
7	シタバネウケ	SUS304	
8	ウエバネウケ	SUS304	

No.	部 品 名	青銅製	ステンレス鋼製
9	チョウゼツバネ	SUS304	
10	チョウゼツネジ	C3604B	SUS304
11	チョウゼツナット	C3604B	SUS304
12	ガスケット	PTFE	
13	ハンドル	ADC12	
14	リング	NBR	
15	フランジ	SUS304	

注. フランジ形のホンタイとベンザは同一の部品です。

流量線図

適用型式 SL-38E (38EN)、SL-38EA 型
SL-40E (40EN)、SL-40EA 型
SL-40EF、40EFA 型

図1.流量線図

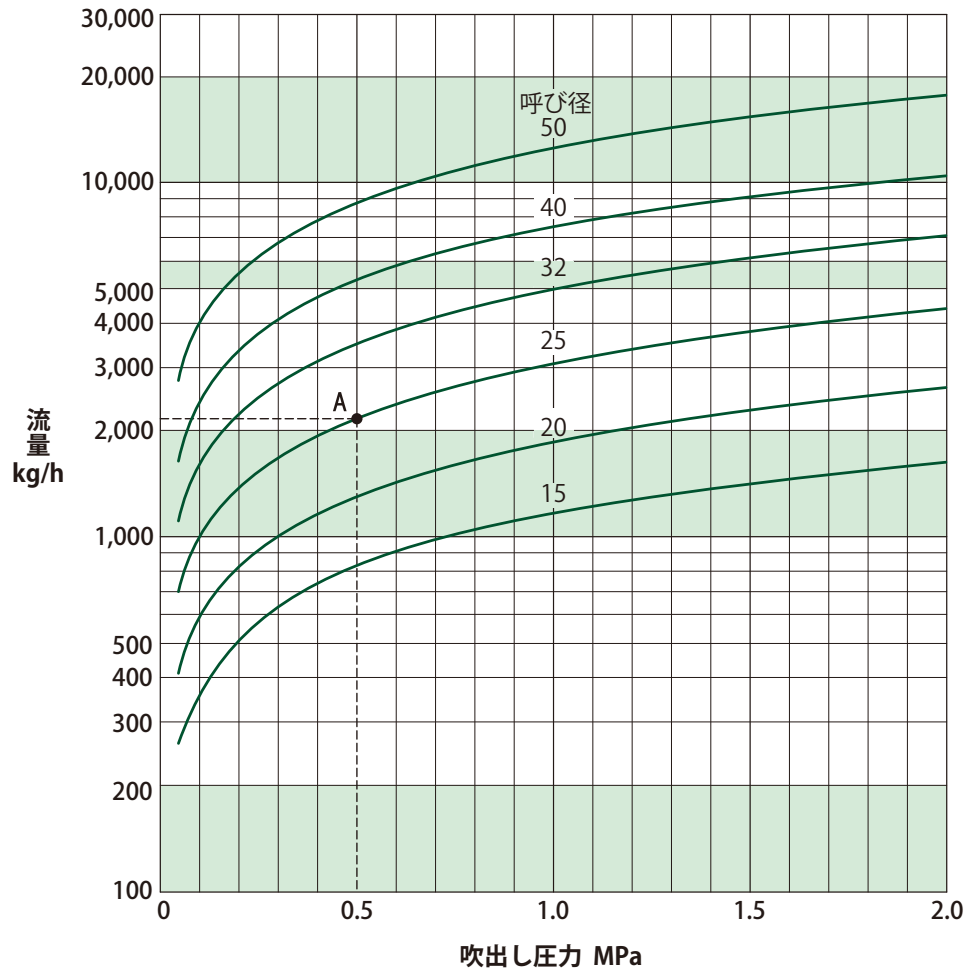
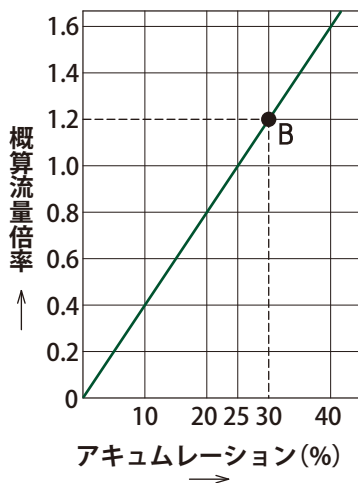


図2.概算流量倍率



●線図の使い方

1. アキュムレーション 25% のときは、図 1 を使用します。
2. アキュムレーション 25% 以外のときは、図 1 と図 2 を使用します。

●例

1. 呼び径 25、吹出し圧力 0.5MPa、アキュムレーション 25% のときの流量は図 1 の A 点（吹出し圧力 0.5MPa と呼び径 25 との交点）から、流量 2,180kg/h となります。
2. 同様条件で、アキュムレーション 30% のときの流量は、図 2 の B 点から概算流量倍率 1.2 となりますので、 $2,180\text{kg/h} \times 1.2 = 2,616\text{kg/h}$ になります。

●kg/h→L/minへの換算方法（参考）

水 1 リットル (L) の質量≒1kg より

$$\text{L/min} = \frac{\text{上記線図の数値 (kg/h=L/h)}}{60}$$

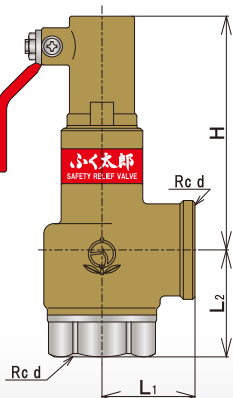
寸法表

●ねじ込形

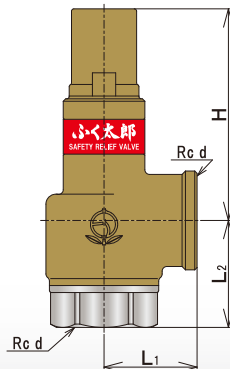
種類
安全逃し弁（メタルシート形）
安全逃し弁（ソフトシート形）
ポンプレリーフ弁



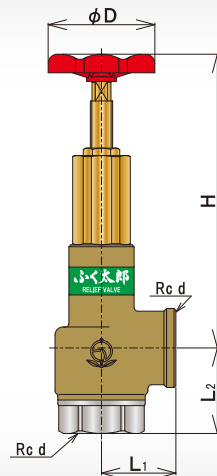
レバー付	
SL-37型	SL-39型
SL-37V型	SL-39V型
—	—



レバー無	
SL-38型	SL-40型
SL-38V型	SL-40V型
SL-38E型	SL-40E型



ハンドル付	
—	—
SL-38EA型	SL-40EA型



呼び径	面間寸法		接続
	L ₁	L ₂	d
15	30	36	1/2
20	35	40	3/4
25	40	46	1
32	50	54	1 1/4
40	55	60	1 1/2
50	65	73	2

高さ H		質量
SL-37,37V型	SL-39,39V型	(kg)
94	96	0.6
99	100	0.7
102	104	0.9
124	126	1.5
130	131	2
165	166	3.6

高さ H		質量
SL-38,38V,38E型	SL-40,40V,40E型	(kg)
84	85	0.5
89	89	0.6
92	93	0.8
114	115	1.4
120	120	1.9
151	152	3.4

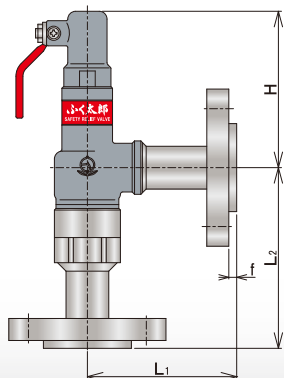
高さ H		D	質量
SL-38EA,40EA型			(kg)
152	61		0.8
155	61		0.9
158	61		1.1
180	61		1.7
184	61		2.2
220	90		3.7

●フランジ形

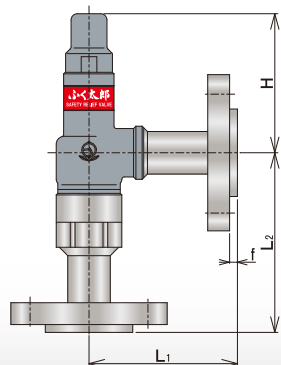
種類
安全逃し弁（メタルシート形）
安全逃し弁（ソフトシート形）
ポンプレリーフ弁



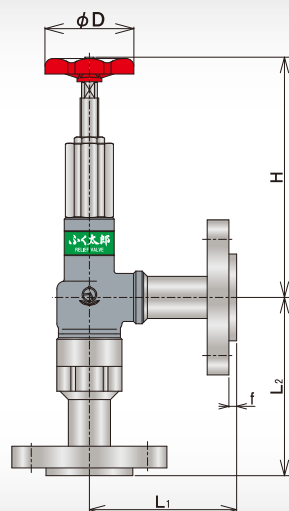
レバー付	
SL-39F型	
SL-39FV型	
—	



レバー無	
SL-40F型	
SL-40FV型	
SL-40EF型	



ハンドル付	
—	
SL-40EFA型	



呼び径	面間寸法		f
	L ₁	L ₂	
15	90	110	5
20	95	115	5
25	100	124	5
32	110	138	5
40	125	154	5
50	135	164	5

高さ H		質量
SL-39F,39FV型		(kg)
96		2.2
100		2.6
104		4.1
126		5.6
131		6.6
166		9.2

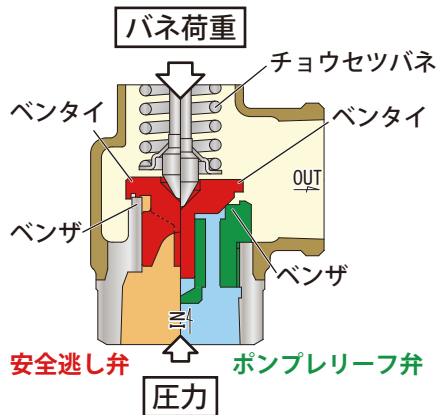
高さ H		質量
SL-40F,40FV,40EF型		(kg)
85		2.1
89		2.5
93		4
115		5.5
120		6.5
152		9

高さ H		D	質量
SL-40EFA型			(kg)
152	61		2.5
155	61		2.9
158	61		4.4
180	61		5.9
184	61		6.9
220	90		9.4

作動

1. 弁 閉

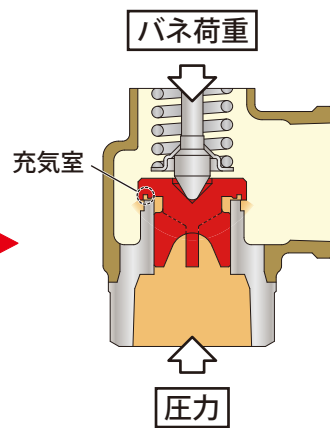
安全逃し弁



入口圧力が設定圧力よりも低い場合は圧力による荷重よりも、チョウセツバネ荷重が強いためにベントイは閉止しています。

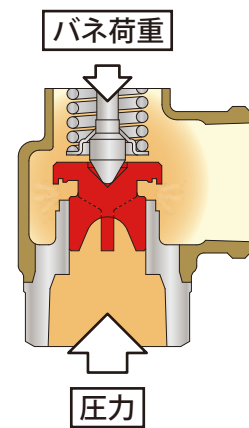
ポンプレリーフ弁

2. 吹 始 め



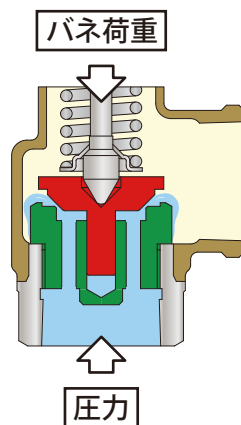
圧力が上昇して設定圧力に達するとベントイ当り面の気密が保持できなくなり流体は漏洩を始め、ベントイに設けられた充気室に蓄積されます。

3. 全開→弁閉



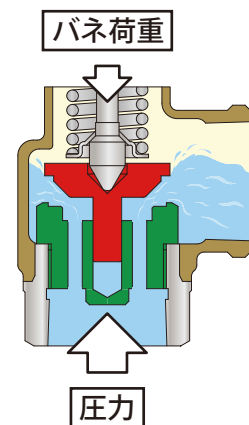
充気室に蓄積された流体は上向きの力を増大させ、ベントイは勢いよく開き流体を放出します。流体の放出により圧力が低下するとベントイは速やかに閉止します。

2. 吹 始 め



圧力が上昇して設定圧力に達するとベントイは開き始め流体が流れ出します。

3. 全開→弁閉

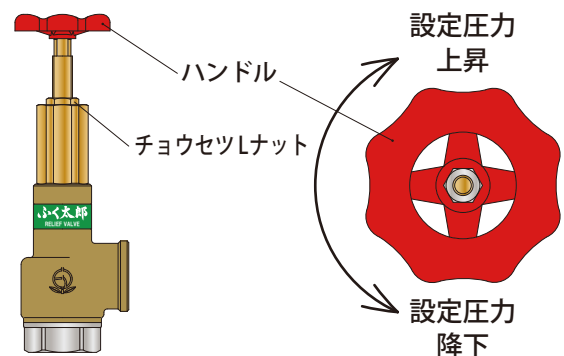


流体が流れ出すと、圧力にほぼ比例してベントイはリフト(上昇)し、吹出し量が増大します。流体の放出により圧力が下がり、設定圧力の85%程度に低下すると閉止します。

設定圧力調整方法(ハンドル付ポンプレリーフ弁)

●手順

1. チョウセツナットを緩めます(左回転)。
 2. 設定圧力を上げる：ハンドルを右回転
設定圧力を下げる：ハンドルを左回転
- 注. ハンドルは1/4回転程度を目安に回転させ、その都度作動確認を行ないます。
3. 所定の圧力に調整した後、チョウセツナットを締付けます。
その後、2～3回作動を繰り返し、作動および設定圧力の確認をします。



取付け・取扱上の注意

●設置

1. 安全逃し弁（レリーフ弁）は直立に取付けてください。取付けの際は器内のスケール、塵埃等を除去し、ガスケット当り面を清掃してください。
2. 取付台の内径は、弁入口径以上とし、取付台の全長はできるだけ短くし、圧力損失を小さくします。
3. 取付台は、弁の吹出しによる反動力を受けますので、この反動力による圧縮、せん断、曲げ応力に対し、十分な強度、剛性をもたせてください。
4. 吹出し管の内径は、弁出口径よりできるだけ大きくし、その長さをできる限り短い距離で、かつ曲がり避け、屋外または安全な場所へ導くようにし、これを適当に支えて本弁に不当な応力が生じないようにしてください。



注意

設置時や運転に関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。

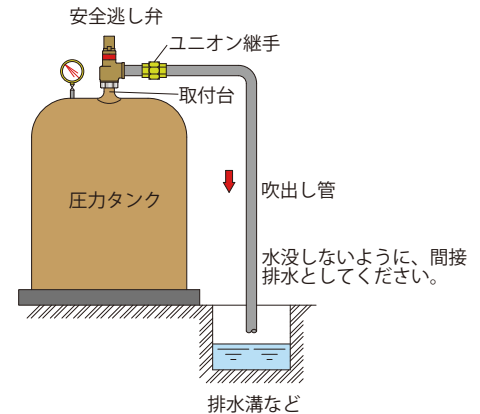


図1. 圧力タンク取付例略図

●設定圧力（安全逃し弁）

弁は設定圧力よりも圧力が降下して弁閉します。この弁閉時の圧力と常用圧力に差がある程、気密性が確実になりますので、できるだけこの差を設けて使用してください。

注. 許容値内の弁座漏れがあり、完全閉止（弁座漏れ零）はできません。

●耐圧試験

配管、機器の耐圧試験を行なう場合は、本弁を取外して取付台にキャップ、またはプラグをして行なってください。

●保守点検

1. 本弁は容易に点検できる位置に取付け、振動、腐食などによって本弁の機能が阻害される恐れのある場所は避けてください。
2. 日常点検としては外観・漏洩また、年に一度は弁を作動させ吹出し圧力・作動状態等を確認してください。
3. 異物の付着や噛み込み、または摩耗が原因で弁体部から漏洩する事があります。その際は弊社にお問い合わせください。

●手動操作（レバー付に適用）

1. 取付後、テストレバーにより弁を作動させる時は、装置の圧力が安全逃し弁設定圧力の75%以上に達した状態で作動させてください。（図3参照）
2. レバー付の場合、作動時にキャップ部からも流体が吹出しますので設置場所にあたっては十分考慮してください。（図4参照）

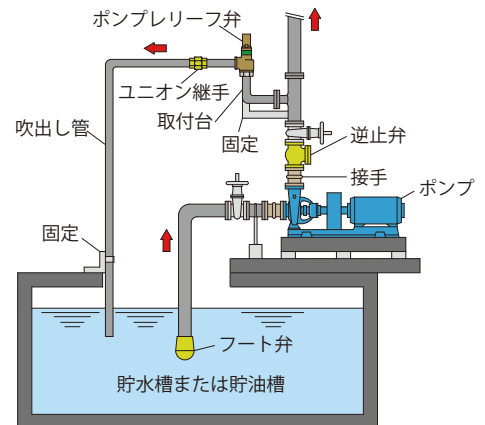


図2. ポンプレリーフ弁取付例略図

●空気・気体・液体の場合

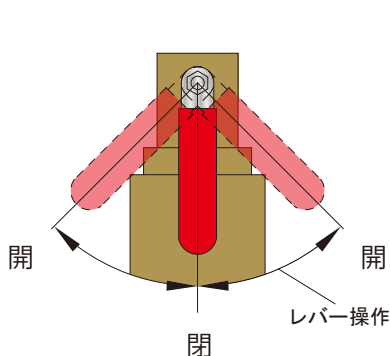


図3. レバー操作

●蒸気の場合

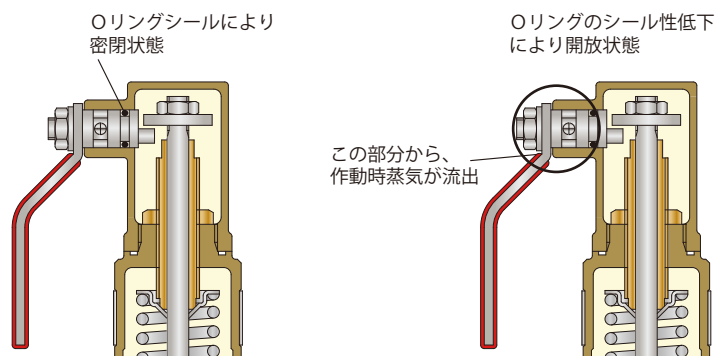


図4. レバー構造略図

関連商品

用途に応じた豊富なラインナップ

※奇数型番：レバー付
偶数型番：レバー無

安全弁(揚程式)

SL-43,44型

圧力容器 減圧弁二次側 など



SL-43型

呼び径：15～50
適用流体：蒸気^{注1}・気体・液体
流体温度：150℃以下(220℃以下^{注1})^{注2}
設定圧力範囲：0.05～1.0MPa
端接続：JIS 10K FF フランジ
^{注1}流体が蒸気の場合開放レバー付となり220℃まで使用できます。
^{注2}SL-44型は-5～184℃となります。
※ソフトシート形も製作しています。

SL-7,8型

圧力容器 蒸気ボイラ など



SL-7型

呼び径：15～32
適用流体：蒸気・空気
流体温度：-5～235℃
設定圧力範囲：0.035～3.0MPa
端接続：JIS Rc ねじ
※フランジ形も製作しています。

SL-11,12型

圧力容器 蒸気ボイラ など



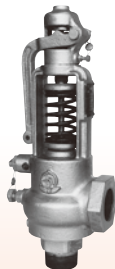
SL-11型

呼び径：15～150
適用流体：蒸気・空気
流体温度：-5～235℃
設定圧力範囲：0.035～3.0MPa
端接続：JIS 30K RF フランジ
※高圧ガス認定品も製作しています。

安全弁(全量式)

SF-1H,2H型

圧力容器 蒸気ボイラ など



SF-1H型

呼び径：20～50
適用流体：蒸気・空気
流体温度：-5～220℃
設定圧力範囲：0.1～2.0MPa
端接続：入口：JIS R ねじ 出口：JIS Rc ねじ
※接続ねじ寸法は、呼び径の1サイズUPとなります。

SF-13,14型

圧力容器 など



SF-14型

呼び径：25～150
適用流体：空気・気体・液体
流体温度：-5～184℃
設定圧力範囲：0.1～1.0MPa
端接続：JIS 10K FF フランジ
※蒸気用も製作しています。

SF-19L,20L型

蒸気ボイラ など



SF-19L型

呼び径：15～150
適用流体：蒸気
流体温度：-5～235℃
設定圧力範囲：0.1～3.0MPa
端接続：JIS 30K RF フランジ
※空気・気体・液体用も製作しています。

ポンプレリーフ弁

SL-44E型

ダッシュポットタイプ



呼び径：15～50
適用流体：水・油・液体
流体温度：5～80℃
設定圧力範囲：0.035～1.0MPa
端接続：JIS 10K FF フランジ
※呼び径 65、80 も製作しています。

SL-8ED,10ED型

サーマルレリーフ用 ダンパータイプ



SL-8ED型

呼び径：15～32
適用流体：水・油・液体
流体温度：5～80℃
設定圧力範囲：0.035～3.0MPa
端接続：JIS Rc ねじ
※フランジ形も製作しています。

SL-46ED型

サーマルレリーフ用 ダンパータイプ



呼び径：40～75^{注1}
適用流体：水・油・液体
流体温度：5～80℃
設定圧力範囲：0.035～2.0MPa
端接続：JIS 20K FF フランジ
^{注1}接続フランジは、JIS規格フランジの呼び径80となります。

安全弁（レリーフ弁）ご照会の際は、下記事項をご指定下さい。

●取付場所又は用途

用途、流体、設置場所により型式が変わります。

●適用法規

法令、法規の適用を受ける場合があります。安全弁の設置場所によっては法令、法規が適用され、流体による材質、圧力の制限および吹出し量の算定式などがそれぞれ異なります。

※(株)ベンでは、法令・法規の適用外となる場合は、一般に压力容器構造規格を準用します。

●流体名(状態)

安全弁は、流体、用途（蒸気ボイラ、温水ボイラ、压力容器、減圧弁の安全装置、ポンプレリーフなど）により適切な型式があります。

●流体温度

流体温度によって型式、材質が変わる場合があります。

●設定圧力

機器、装置などを保護するための安全弁の基本となる圧力です。

安全弁は低圧用から高圧用まで設定圧力に応じて型式および材質が異なります。圧力に合った最適な型式、材質を選定します。

●吹出し量

吹出し量が判らないと呼び径の選定ができません。

必要以上の呼び径を選定しますと作動不安定となる場合があります。



注意

- 用途にあった商品をお選びください。不適切な用途で使われますと事故の原因になることがあります。
- ご使用前に取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。取扱いを誤りますと故障や事故の原因になります。
- このカタログの仕様、構造などの記載内容は予告なしに変更することがあります。

このカタログの記載内容は平成28年3月現在のものです。



流れ・ビューティフル

株式
会社



認証工場

ISO 9001

BUREAU VERITAS
Certification



岩手工場・相模原工場

●本社

〒146-0095 東京都大田区多摩川2-2-13

営業本部 TEL 03(3759)1470 FAX 03(3759)1414

販売促進課 TEL 03(3759)0170 FAX 03(3759)1414

国際課 TEL 03(3759)0178 FAX 03(3759)1414

技術部 TEL 03(3759)0170 FAX 03(3759)1414

URL: <http://www.venn.co.jp>

●東日本営業部

東京営業所

〒146-0095 東京都大田区多摩川2-2-13

TEL 03(3759)0171 FAX 03(3759)0277

設備営業課

TEL 03(3759)0177 FAX 03(3759)0277

横浜出張所

〒146-0095 東京都大田区多摩川2-2-13

TEL 03(3759)0171 FAX 03(3759)0277

西関東営業所

〒252-0132 相模原市緑区橋本台2-2-38

TEL 042(772)8531 FAX 042(770)7576

東関東営業所

〒260-0021 千葉市中央区新宿1-16-9(新栄ビル)

TEL 043(242)0171 FAX 043(238)1208

北関東営業所

〒331-0825 さいたま市北区榑引町2-113-2(藤波ビル)

TEL 048(663)8141 FAX 048(660)1038

関越営業所

〒371-0831 前橋市小相木町1-5-14

TEL 027(252)4248 FAX 027(290)1021

新潟出張所

〒950-0994 新潟市中央区上3-15-9(ブレイス・アイル206)

TEL 025(280)0978 FAX 025(280)0982

仙台営業所

〒984-0012 仙台市若林区六丁目の目町21-39

TEL 022(287)6211 FAX 022(390)6110

いわき出張所

〒970-1144 いわき市好間工業団地13-1

TEL 0246(36)7558 FAX 0246(47)0026

盛岡営業所

〒028-3615 岩手県紫波郡矢巾町南矢幅6-151

TEL 019(697)7651 FAX 019(697)6152

札幌営業所

〒003-0872 札幌市白石区米里2条4丁目2-25

TEL 011(875)8007 FAX 011(875)8017

●西日本営業部

大阪営業所

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島2-15-21

TEL 06(6325)1501 FAX 06(6325)1506

岡山出張所

〒700-0845 岡山市南区浜野2-3-2(シャーマン浜野201)

TEL 086(902)3060 FAX 086(902)3061

名古屋営業所

〒453-0041 名古屋市中村区本陣通5-55

TEL 052(411)5840 FAX 052(419)1006

静岡出張所

〒420-0876 静岡市葵区平和1-2-1(ドミール平和102)

TEL 054(275)2705 FAX 054(275)2706

金沢営業所

〒920-0054 金沢市若宮1-52

TEL 076(261)6989 FAX 076(261)6994

広島営業所

〒733-0003 広島市西区三篠町1-9-22

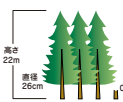
TEL 082(230)4511 FAX 082(509)0003

福岡営業所

〒812-0034 福岡市博多区下呉服町9-24

TEL 092(291)2929 FAX 092(282)1085

このパンフレットは、株式会社ベンが、印刷プロセスで使用する4.22kgのアルミ板をリユースして印刷する事で、
電力量66.77kWh
(CO₂排出量換算で43.09kgに相当)を削減しました。



当CO₂削減量は株式会社日本スマートエナジーがこの印刷システムを厳格・公正に審査・確認して与えられたものです。

43.09kgのCO₂削減量とは
樹齢50年(高さ22m・直径26cm)の杉の木約3.09本分が1年間に吸収するCO₂量に匹敵します。

(出典:林業白書)

株式会社ベンは、MCPによる印刷を通じて、インドネシア・バリ州の森林再生事業(国立公園内の植樹3,000本)に参加しています。

